

港区 野跡小学校と稲永小学校の統合に関する
取り組み（回覧・配布資料一覧）について

時期	概要	資料	資料頁
令和2年1月	説明・意見交換会の開催 稲永：1/17, 18 野跡：1/24, 25	野跡小学校の統合に関する説明・意見交換会	P1－2
		なごや小学校の「学校統合に関するアンケート」の実施結果	P3－4
令和2年2月	説明・意見交換会の開催 結果の報告・周知	「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」の開催結果だより	P5－6
		「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」の開催結果	P7－11
		「野跡小学校における統合に関する説明・意見交換会」の開催結果だより	P13－14
		「野跡小学校における統合に関する説明・意見交換会」の開催結果	P15－20

野跡小学校の統合に関する説明・意見交換会

1 小規模校の特徴

よさ	・学校行事ですべての児童に活動の場を与えやすい。 ・異学年の交流が図りやすい。 ・一人ひとりの児童にきめの細かい指導がしやすい。
課題	・日々の学校生活の中で、様々な考え方や価値観に出会い、社会性や協調性、コミュニケーション能力を伸ばす機会に限られる。 ・子どもたちの実態に応じたクラス替えが困難であるため、人間関係の固定化や男女比の偏りが生じやすい。 ・体育の球技や音楽の合唱・合奏のような集団学習、班活動やグループ分けなどに制約が生じる。 ・小規模校では教員数が少ないため、教員一人あたりの校務や行事に関わる負担が重くなる。

上記のような小規模校のよさを残しながら、小規模校の課題を解決しつつ、児童にとってよりよい教育環境にするため、小学校では12学級以上が必要であると考えます。

2 野跡小学校の現状等

(1) 学級数・児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支
1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	2学級
32人	31人	26人	37人	34人	40人	6人
206人						

特支：特別支援学級（以下同じ）

(2) 学区の未就学児数

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
13人	20人	31人	34人	33人	30人
161人					

(3) 今後の見込み

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級
200人	181人	167人	157人	152人	136人	116人

※ 特別支援学級の人数・学級数は含みません。

3 稲永小学校の現状等

(1) 学級数・児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支
2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	2学級	1学級
48人	57人	55人	61人	51人	75人	2人
349人						

(2) 学区の未就学児数

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
30人	27人	39人	52人	29人	49人
226人					

(3) 今後の見込み

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
12学級	12学級	11学級	11学級	11学級	10学級	8学級
347人	322人	300人	290人	273人	241人	221人

※ 特別支援学級の人数・学級数は含みません。

4 統合（案）

稲永小学校の場所で、野跡小学校と稲永小学校を統合

- 選定理由
- ・野跡小学校が、稲永小学校から分離してできた経緯（分離前は稲永小分校）
 - ・いずれも2^{丁目}以内で通学が可能な通学区域であるが稲永小学校の方が近い
 - ・稲永小学校の方が、敷地面積が広い

(1) 学級数・児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支
3学級	3学級	3学級	3学級	3学級	3学級	2学級
80人	88人	81人	98人	85人	115人	8人
555人						

※ 現時点で2校が統合したと仮定した場合

(2) 未就学児数

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
43人	47人	70人	86人	62人	79人
387人					

(3) 今後の見込み

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
18学級	18学級	15学級	14学級	15学級	13学級	12学級
547人	503人	467人	447人	425人	377人	337人

※ 各年度とも2校が統合したと仮定した場合

※ 特別支援学級の人数・学級数は含みません。

(4) 通学距離（最も遠い地点からの距離）

野跡学区（野跡3） ～ 稲永小学校 1.6 km
（参考）稲永学区（稲永1） ～ 野跡小学校 1.7 km

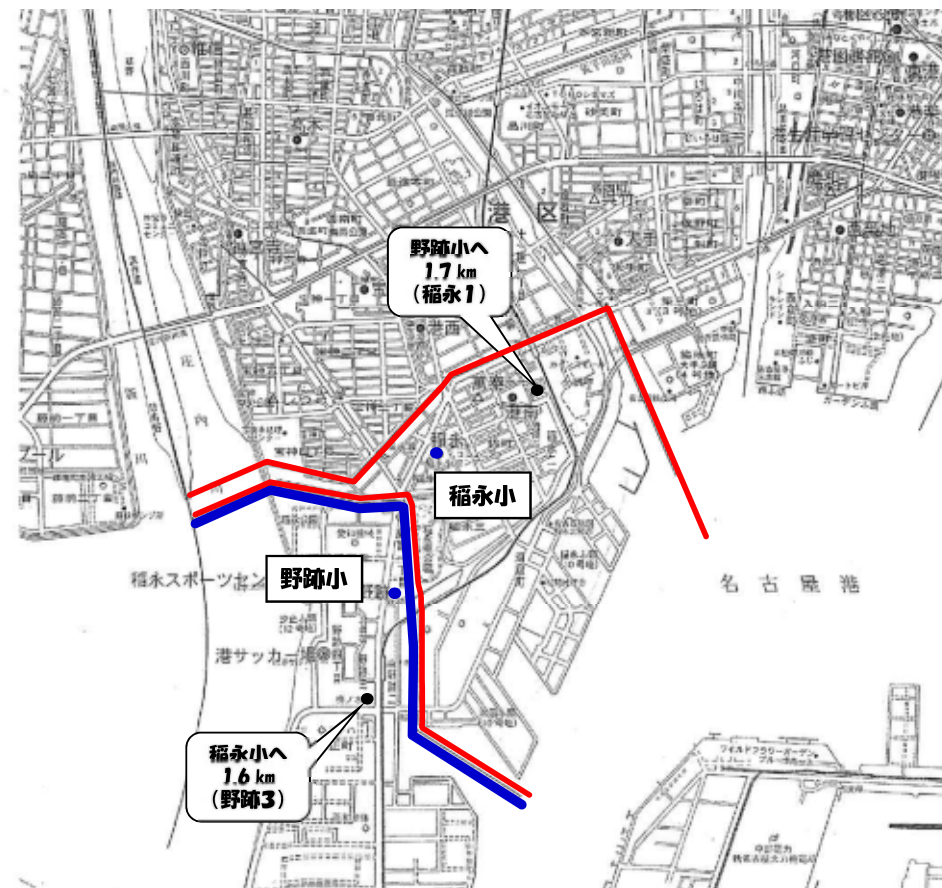
5 施設の現況等

区分	野跡小学校	稲永小学校
校地面積	12,288㎡	12,830㎡
校舎面積	3,968㎡	6,861㎡
普通教室数	13教室	25教室
校舎	東校舎棟 昭和49年建築（築45年） 西校舎棟 昭和50年建築（築44年）	北校舎棟 昭和34年建築（築60年） 中校舎棟 昭和43年建築（築51年） 東校舎棟 昭和40年建築（築54年）
体育館	体育館棟 昭和51年建築（築43年）	体育館 平成6年建築（築25年）
学校の沿革	昭和52年に稲永小学校から分離 （前年までは稲永小分校）	昭和51年に港西小学校から分離 （前年までは港西小分校）
学区面積	4.7平方キロメートル	2.4平方キロメートル
学区人口総数	3,193人	7,440人

6 統合について

- （1）統合校のあり方は、原則として、統合により一方の学校を残し、他方の学校を廃止するのではなく、新しい学校を開設するという考え方で、各校の特色や良さを継承・発展させるよう統合後の学校づくりに取り組みます。
- （2）新たな人間関係をスムーズに構築できるよう児童相互の交流活動を実施します。
- （3）統合校への教員の配置に際しては、児童や保護者・地域等を理解した教育が継続できるよう、統合前の学校の教員をバランスよく配置できるようにします。
- （4）通学の安全については、関係行政機関（警察や土木事務所等）と連携を図り、地域ごとの通学路や交通状況の特性を踏まえ、通学の安全確保に取り組みます。
- （5）統合により使用しなくなる校地や校舎については、防災拠点等、地域に必要な機能に配慮しながら余剰となる資産の有効活用を全市的な視点で検討します。
- （6）これまでの統合校の地域活動は、いずれの地域も統合前と変わらずに従前の学区組織の単位で行われています。

※ 資料中の数値は、いずれも令和元年度時点です。



※ この地図の作成にあたっては、名古屋市学校配置図の一部を使用し、複製したものです。（東洋地図株式会社承諾済）

【メモ】

なごや小学校の「学校統合に関するアンケート」の実施結果

幅下小学校、那古野小学校、江西小学校の統合により、平成 27 年 4 月になごや小学校が誕生しました。また、平成 29 年 4 月より新校舎となりました。

このアンケートは、平成 29 年 12 月になごや小学校の児童及び保護者に対して実施したものです。

実施期間：平成 29 年 12 月 11 日（月）～平成 29 年 12 月 18 日（月）

【児童（2 年生、3 年生）のアンケート結果】回答者数 117 人

- 1 新校舎に変わった後の学校生活には慣れましたか。
慣れた…96 人 少し慣れた…19 人 まだ慣れていない…2 人 無回答…0 人
- 2 新校舎に変わるまでにどのような心配がありましたか。（いくつ選んでもかまいません。）
学校の様子が変わる…26 人 クラスの数や学年の人数が増える…14 人
学校が遠くなる…35 人 新しい友達ができるのか…35 人
授業の進み方が変わるのか…18 人 心配はなかった…54 人
その他…8 人 無回答…0 人
- 3 新校舎に変わる心配はなくなりましたか。
心配していなかった…56 人 心配はなくなった…54 人
心配は続いている…7 人 無回答…0 人
- 4 新校舎に変わり、クラスの数や学年の人数が増えましたが、そのことについてどのように思いますか。
クラスや人数が増えてよかった…92 人 今までと変わらない…17 人
クラスや人数が増えないほうがよかった…8 人 無回答…0 人
- 5 今の小学校についてどう思いますか（いくつ選んでもかまいません）
 - （1）学級での様子について
新しい友達ができうれしい…91 人 にぎやかになった…76 人
授業が楽しくなった…74 人 今までと変わらない…9 人
意見がまとまりにくくなった…16 人 その他…9 人 無回答…0 人
 - （2）休み時間の様子について
遊ぶ仲間が増えた…85 人 遊びの種類が増えた…55 人
よく外で遊ぶようになった…49 人 今までと変わらない…10 人
遊ぶことが少なくなった…13 人 もめごとが多くなった…23 人
その他…14 人 無回答…0 人

（3）行事（遠足や運動会など）の様子について

人数が増えて楽しかった…94 人 人数が増えて大変になった…9 人

今までと変わらない…18 人 その他…3 人 無回答…0 人

（4）先生の人数が増えたことについて

たくさん先生と話ができるのでよかった…52 人

いろいろな先生に教えてもらえるので良かった…78 人 今までと変わらない…22 人

先生とあまり話ができなくなった…1 人

先生の名前を覚えるのが大変になった…45 人 その他…3 人 無回答…0 人

（5）新校舎に変わる前と後での学校の校舎や体育館について

広くなった…99 人 きれいになった…99 人 明るくなった…75 人

使いやすくなった…71 人 分からない…2 人 その他…6 人 無回答…0 人

【児童（4 年生、5 年生、6 年生）のアンケート結果】回答者数 192 人

- 1 新校舎に変わった後の学校生活には慣れましたか。
慣れた…159 人 少し慣れた…31 人 まだ慣れていない…2 人 無回答…0 人
- 2 新校舎に変わるまでにどのような心配がありましたか。
学校の様子が変わる…37 人 クラスの数や学年の人数が増える…51 人
学校が遠くなる…55 人 新しい友達ができるのか…52 人
授業の進み方が変わるのか…13 人 心配はなかった…64 人 その他…15 人
無回答…1 人
- 3 新校舎に変わる心配はなくなりましたか。
心配していなかった…69 人 心配はなくなった…113 人
心配は続いている…9 人 無回答…1 人
- 4 新校舎に変わり、クラスの数や学年の人数が増えましたが、そのことについてどのように思いますか。
クラスや人数が増えてよかった…143 人 今までと変わらない…34 人
クラスや人数が増えないほうがよかった…16 人 無回答…1 人
- 5 今の小学校についてどう思いますか（いくつ選んでもかまいません）
 - （1）学級での様子について
新しい友達ができうれしい…133 人 にぎやかになった…141 人
授業が楽しくなった…84 人 今までと変わらない…13 人
意見がまとまりにくくなった…27 人 その他…10 人 無回答…0 人

(2) 休み時間の様子について

遊ぶ仲間が増えた…118人 遊びの種類が増えた…45人

よく外で遊ぶようになった…45人 今までと変わらない…40人

遊ぶことが少なくなった…40人 その他…10人 無回答…0人

(3) 遠足や運動会の様子について

人数が増えて楽しかった…139人 今までと変わらない…39人

人数が増えて大変になった…13人 その他…7人 無回答…0人

(4) クラブ活動について（5年生と6年生だけ回答してください。）

人数が増えて、クラブ活動が活発になった…53人

クラブの数が増えたのでよかった…45人 今までと変わらない…29人

今までのほうがよかった…11人 分からない…3人 その他…1人 無回答1人

(5) 先生の人数が増えたことについて

たくさんの先生と話ができるのでよかった…68人

いろいろな先生に教えてもらえるので良かった…62人

今までと変わらない…63人 先生とあまり話が出来なくなった…3人

先生の名前を覚えるのが大変になった…44人 その他…0人 無回答…5人

(6) 新校舎に変わる前と後での学校の校舎や体育館について

広くなった…145人 きれいになった…131人 明るくなった…88人

使いやすくなった…89人 分からない…7人 その他…8人 無回答…0人

【保護者のアンケート結果】回答者数251人

1 お子様が、新校舎に移動後の学校生活には慣れるのにどれくらいかかりましたか。

1ヶ月以内…182人 3ヶ月以内…40人 6ヶ月以内…18人

まだ慣れていない…8人 無回答…3人

2 新校舎に移動する時にどのような心配がありましたか。

学校の様子が変わる…32人 クラス数や学年の人数が増える…56人

学校が遠くなる…78人 友達関係が新しくなる…98人

授業環境が変化すること…10人 心配はなかった…86人 その他…8人

無回答…0人

3 また心配されていたことについて実際にどうでしたか。（心配がなかった場合、回答は不要です。）

心配はなくなった…110人 心配は続いている…57人 無回答…84人

4 新校舎に移動する前と後で、学校生活や友達関係などにおいて、お子様に何か変化はみられましたか。

特に変化はない…133人 変化がみられた…116人 無回答…2人

5 新校舎に変わり、クラスの数や学年の人数が増えましたが、そのことについてどのように思いますか。

クラスや人数が増えてよかった…162人 今までと変わらない…42人

クラスや人数が増えたことに不安や不満がある…10人 どちらともいえない…29人

無回答…8人

6 学校行事（運動会など）について、どのように感じておられますか

人数が増えて活発になった…145人 子どもが積極的に参加するようになった…7人

今までと変わらない…73人 人数が増えて大変になった…20人

その他…6人 無回答…8人

7 お子様の様子を見て、学校が統合したことについて、どのように感じておられますか

統合してよかった…184人 どちらともいえない…51人

統合はよくなかった…2人 その他…4人 無回答…10人

8 新校舎に変わる前と後の学校施設について感想をお書きください。

良くなった…221人 その他…15人 無回答…15人

「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」 の開催結果だより（令和2年1月17日(金),18日(土)開催）

1 開催結果

教育委員会では稲永小学校と野跡小学校の統合に向けて検討を進めています。令和2年1月17日（金）及び18日（土）に稲永小学校体育館で、稲永小学校の保護者及び地域の方を対象とした「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」を開催し、2日間で、延べ25人の方にご参加をいただきました。

※説明・意見交換会で配布した資料及び当日の意見・質問と教育委員会の考え方の詳細については、2月下旬以降市公式ウェブサイトからご覧いただけます。



<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-5-5-4-0-0-0-0-0.html>

区 分	保護者	地域住民	合 計
1月17日（金）	8人	3人	11人
1月18日（土）	9人	5人	14人
合 計	17人	8人	25人

2 会場での主な意見・質問

○いつ統合がされるのか、教育委員会として何年でやりたいという意気込みはあるのか。

今までの統合の事例で、メリットとデメリットを教えてほしい。

○校舎は改築するのか、改修するのか。稲永小学校の土地を拡張する予定はあるのか。

工事期間中の子どもの授業はどのように行っていくのか。

○通学路の安全対策について、どのような取り組みをするのか。

通学距離が長くなると、低学年は荷物も多くて大変だ。

○教員の負担が重くなっていると思うが、統合で子どもの数が増えると先生の数はどうなるのか。

現在の稲永小学校・野跡小学校の先生は、統合校にそのまま来てもらえるのか。

○統合後に、子どもの数が増えたり減ったりしたら、再度の分離・統合はあるのか。

○統合後、PTA役員やトワイライト地域協力員など、両学区から選出されるのか。

○知らない子同士で一緒になると、いじめやいざこざが心配。どのようなケアを考えているのか。

【教育委員会の考え方】

○稲永小学校、野跡小学校とも児童数の減少が見込まれており、望ましい学校規模の確保が必要であることから、教育委員会としては、令和2年度中の統合決定を目指したいと考えています。統合したなごや小学校で実施したアンケートでは、統合前には「学校の様子が変わること」「新しい友達ができるのか」などの心配があったという子どももいましたが、統合後には概ね解消され、統合してよかったという声が多く聞かれました。

（裏面があります）

- 統合を契機に、子どもたちにとって安心・安全・快適な教育環境が確保できるよう必要な校舎の整備を行います。その際、敷地は拡張することなく、現状規模を想定しています。工事期間中の安全確保を第一に、学校生活への負担を考えながら検討していきます。
- 通学については、警察や土木事務所等の関係行政機関と連携し、学校とともに子どものことを第一に考えた安全確保に取り組んでまいります。
- 登下校時の子どもの荷物につきましては、学校の実情にあわせて対応を検討します。
- 統合前に比べて学級数が増えることから、教員ひとりあたりの負担が軽減され、より子どもたちに目を配ることができるようになります。また、統合に当たっては、統合前の学校の教員をバランスよく配置できるようにしてまいります。
- 統合後にさらに児童数が減少した場合の再度の統合については、子ども達や保護者・地域の皆様のご負担を考え、慎重に検討していく必要があると考えています。
- PTA役員の取り決めなどは、統合決定後に両校での話し合いなどにより、決定されます。
- トワイライトにつきましては、所管する子ども青少年局と情報共有しながら、検討します。
- 統合前からの児童相互の交流活動を行うとともに、子どもたちの心に寄り添いながら、取り組みを進めてまいります。

3 アンケートの主な意見・質問

- 早く一緒になってほしい。
- どれだけ遠くなるのか、具体的な数字で示してほしい。
- 説明・意見交換会の内容は、両小学校をまとめて教えてほしい。
- スケジュールや通学路のことなど、分かり次第、再び説明会を開くなどしてほしい。
- ある程度、決まってから説明・意見交換会を開催したほうがいいと思う。

【教育委員会の考え方】

- 名古屋市では、小学校における通学距離は概ね2kmを目安と考えています。今回の取り組みで野跡学区南部の野跡3丁目から、統合後の稲永小学校までは概ね1.6kmとなる見込みです。
- お便りについて、小学校を通じた保護者への配布や地域で回覧するとともに、統合に向けた様々な情報を市公式ウェブサイトへの掲載等により情報提供してまいります。
- いただいたご意見を参考に、保護者・地域の皆さんへご説明できるよう、進めてまいります。

◆お問い合わせ先（事務局）

皆さまからのご意見やご質問を受け付けています。いただいたご意見・ご質問と教育委員会の考え方は、市公式ウェブサイトでも皆様にお知らせしていきます。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室

Eメール：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

FAX：052-972-4176 TEL：052-972-4091

「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」 の開催結果

教育委員会では、稲永小学校と野跡小学校の統合に向けて検討を進めています。

令和2年1月17日（金）及び18日（土）に稲永小学校の体育館で稲永小学校の保護者及び稲永学区の方を対象とした「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」を開催し、様々なご意見やご質問をいただきました。

当日のやりとりやアンケートなどでいただいたご意見やご質問について、名古屋市教育委員会の考え方をまとめました。内容につきましては、趣旨の類似するものをまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

◆お問い合わせ先

皆さまからのご意見やご質問は、EメールまたはFAXで受け付けています。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室

Eメール：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

FAX：052-972-4176 TEL：052-972-4091

1 スケジュールに関すること

○統合は決定事項なのか。いつ統合がされるのか。

○統合に向け、早くて何年、遅くて何年といった目標があるのか。教育委員会として何年でやりたいという意気込みはあるのか。

（教育委員会の考え方）

- ・ 今後、野跡小学校が小規模校を脱する可能性は低く、稲永小学校も子どもの数が減少して、クラス替えのできない学年が出てくると予想しています。稲永小学校にとっても、望ましい学校規模を維持できるように、取り組みを進めてまいりたいと考えています。
- ・ 今回の説明・意見交換会は、統合に向けた取り組みの最初の段階（ステップ1）に位置するものです。保護者・地域の皆様へ統合について教育委員会の考え方を広くお知らせするため、開催いたしました。
また、教育委員会では、統合を進めていく際には、中立性や客観性ととともに専門的立場からの見識や判断が必要と考えています。今後、学識経験者等により構成する名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会で具体的な取り組み内容の調査・審議を行う予定です（ステップ2）。
保護者・地域の皆様には、審議会の答申を踏まえ、統合スケジュールを含む具体的な取り組み内容を改めてお示しし、丁寧な協議（ステップ3）を行った上で統合の決定をしたいと考えています（ステップ4）。

(1の続き)

- ・教育委員会としては、令和2年度中の統合決定を目指したいと考えています。
- ・スケジュールは校舎の整備内容によって異なりますが、参考として、なごや小学校の事例では、検討開始から新しい校舎で授業を受けられるようになるまで6年ほど（検討、新しい学校づくり、校舎整備でそれぞれ概ね2年）かかりました。

2 統合にあたっての稲永小学校の校舎整備に関すること

- 校舎などの古くなった所をなおしてほしい。子ども達が快適に学べるような、整備をしてほしい。
- トイレの洋式化、きれいなトイレの整備を進めて欲しい。
- 稲永小学校の土地を拡張する予定はあるのか。具体的には、校舎を改築するのか、改修するのか。
- 工事期間中の子どもの授業はどのように行っていくのか。
- トワイライトルームの部屋も一緒にきれいに整備してほしい。

(教育委員会の考え方)

- ・統合を契機に子どもたちにとって安心・安全・快適な教育環境が確保できるよう学校施設の改善を図ってまいります。
- ・また、具体的な整備の考え方につきましては、工事期間中の教室等の確保を含めて、子ども達の安全確保を第一に、学校生活への負担を考えながら検討してまいります。
- ・整備の方針につきましては、保護者・地域の皆様にお示しする準備ができ次第、改めてご説明する予定です。
- ・なお、現在の稲永小学校の敷地だけで小学校の校舎配置が可能であることから、土地の拡張は考えておりません。

3 通学距離・安全対策に関すること

- 現状からどれだけ遠くなるのか、どれだけ通学時間ふえるのか、具体的な数字で示してほしい。特に低学年は荷物も多く、大変だと思う。
- 野跡小の子どもは学校が遠くなる。通学路の安全対策について、特に大型車が通る道路についての取り組みや配慮はどのようにするのか。
- 通学区域が広がると、子ども同士が遊ぶ交友範囲も広がるので心配だ。

(教育委員会の考え方)

- ・名古屋市では、小学校における通学距離は概ね2kmを目安と考えています。野跡学区南部の野跡3丁目から野跡小学校まで概ね0.7kmですが、統合後の稲永小学校までは概ね1.6kmとなる見込みです。

(3の続き)

- ・我々も地域を歩いて、通学路の安全対策は大変重要なことだと認識しています。統合後の新しい通学路につきましては、統合決定後の新しい学校づくりの中で保護者や地域の皆様と一緒に通学路を歩いたり、子どもの通学練習会を開催するなどして、考えてまいります。
- ・なお、登下校における子どもの荷物につきましては、統合と関係なくそれぞれの学校で対応を進めているところです。学校の実情にあわせて対応を検討します。
- ・地域・保護者の皆様にもご協力をいただきながら、警察や土木事務所等の関係行政機関と連携し、学校とともに子どもことを第一に考えた安全確保に取り組んでまいります。

4 教員の負担等

- やはり少ない方がしっかり見てもらえる気がするが、人数が増えることによって、1人1人に寄り添うことが出来るのか。
- 教員の負担が重くなっていると思うが、統合で子どもの数が増えると先生の数はどうなるのか。
- 統合後は、稲永と野跡の先生はそのまま来てもらえるのか。子どもたちにとっては同じ先生が来てくれたらいいと思う。
- 知らない子同士で一緒になると、いじめやいざこざが心配。どのようなケアを考えているのか。

(教育委員会の考え方)

- ・統合後は、統合前と比較すると教職員数が増えるため、例えば校務の事務分担はより多くの教職員で分担できるようになります。また、学年が複数学級となれば、学年ごとに準備が必要となる遠足や校外学習などの取り組みを担当同士で分担して計画・立案したり、実施したりすることができるようになります。
- ・運動会や学芸会・作品展などの学校全体の行事においては、より人数の多くなった教職員がそれぞれの役割を分担することで、小規模校の頃よりも負担軽減を図ることができるようになります。
- ・こういった教員の負担が軽減される分、教員は子どもたちにより目を配ることができるようになります。
- ・統合後は、子どもたちのことをよく知っている統合前の教員をバランスよく配置できるようにしてまいります。
- ・統合によって二つの学校が一つになること、また、これまで通い慣れた学校の場所が変わることなどについて、子どもたちの心理的な負担に配慮していくことは重要であると考えています。

(4の続き)

- ・統合に向けては、スクールカウンセラーの活用やなごや子ども応援委員会との連携を図るとともに、学校の中で子どもたちに一番身近な教職員同士での情報交換を進めるなど、子どもたちの実情を踏まえつつ対応していきたいと考えています。

5 統合について

- 早く一緒になってほしい。
- 今までの統合の事例で、メリットとデメリットを教えてほしい。
- 子どもの数が増えた場合、この計画はどうなるのか。
- 令和7年度は12学級となっているが、令和8年度以降にさらに小規模化する可能性があった場合は、さらに統合をするのか。その場合、また負担が増えるのではないか。
- 統合した場合、統合前のPTA役員経験者は、統合後も経験済みとして取り扱ってもらえるのか。
- トワイライトのAP（地域協力員）は、両学区から選出されるのか。人数が多くなるので、ぜひ来てほしい。

(教育委員会の考え方)

- ・資料として統合したなごや小学校で実施したアンケート結果を配布いたしました。この中で、統合前には「学校の様子が変わること」、「新しい友達ができるのか」などの心配があったという子どももいましたが、統合後には概ね解消され、統合してよかったという声が多く聞かれました。
- ・現在の児童数や幼児人口に、人口の移動率等を加味して令和7年度までを推計しています。令和8年度以降に小学生になる子どもはまだ生まれていないためお示しできませんが、今後の傾向として、子ども数が増えることはなかなか見込めないのが現状です。
- ・統合を進め、より良い教育環境を確保することで、結果として子どもの数も増え、望ましい学校規模が維持できるようにしたいと考えています。統合後にさらに児童数が減少した場合の再度望ましい統合につきましては、子ども達や保護者・地域の皆様のご負担を考え、慎重に検討していく必要があると考えています。
- ・学校の統合によりPTAもひとつになります。役員の取り決めなどは、統合が決まった後に両校での話し合いなどにより決定することになると考えています。また、トワイライトにつきましては、所管する子ども青少年局と情報共有しながら、対応してまいります。

6 その他（ご意見やご質問）

- 説明・意見交換会の内容（便り）は、両小学校をまとめて配布してほしい。
- 説明会に参加してよかった。スケジュールや通学路のことなど、分かり次第、再び説明会を開くなどしてほしい。
- 丁寧な準備と内容でした。参加者が少ないのがもったいない。参加者を増やす事が課題だと思う。もう少し意見交換の時間があるとよかった。
- まだ分からない、という事が多すぎて意見交換がやりにくかった。ある程度、決まってからにしたほうがいいと思う。この内容なら資料を配るだけで十分だと思う。
- 少数意見の中にあるものを、見逃さないようにしてほしい。
- 教育委員会の決定、大きな流れがあるなら、受けてこちらも動くしかない。

（教育委員会の考え方）

- ・今回はステップ1ということで、教育委員会の考えをお示しするために説明・意見交換会を開催しました。いただいたご意見を参考に、保護者・地域の皆さんへご説明できるよう、進めてまいります。
- ・お便りについて、小学校を通じた保護者への配布や地域で回覧するとともに、統合に向けた様々な情報を市公式ウェブサイトへの掲載等により情報提供してまいります。保護者・地域の皆様のご意見をいただきながら、取り組みをすすめてまいりたいと考えています。
- ・なお、野跡小学校での説明・意見交換会につきましても同様に取り扱っていますので、参考にご覧ください。

様々なご意見・ご質問、誠にありがとうございました。

「野跡小学校の統合に関する説明・意見交換会」の 開催結果だより（令和2年1月24日(金)、25日(土)開催）

1 開催結果

教育委員会では野跡小学校と稲永小学校の統合に向けて検討を進めています。令和2年1月24日（金）及び25日（土）に野跡小学校体育館で、野跡小学校の保護者及び地域の方を対象とした「野跡小学校の統合に関する説明・意見交換会」を開催し、2日間で、延べ33人の方にご参加をいただきました。

※説明・意見交換会で配布した資料及び当日の意見・質問と教育委員会の考え方の詳細については、2月下旬以降市公式ウェブサイトからご覧いただけます。



<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-5-5-4-0-0-0-0-0.html>

区 分	保護者	地域住民	合 計
1月24日（金）	19人	1人	20人
1月25日（土）	8人	5人	13人
合 計	27人	6人	33人

2 会場での主な意見・質問

- 児童数がもっと少ない時期もあったのに、なぜ今になって統合の話が出てきたのか。
- 資料を見ると児童数が激減していくようだが、本当にこんなに減ってしまうのか。
- 1学級の人数は基準があるのか。子どもが増えると教員の負担が増えないか。
- 統合に向け、目標とするスケジュールがあるのではないか。
- 通学区域が広がると通学範囲や遊ぶ範囲が広がる。安全対策をどう考えるのか。
ガードレール等必要な整備は統合前にしてほしい。通学は徒歩しか認められないのか。
- 跡地はどのように活用するのか。
- 統合に向け、稲永小学校との交流を今後どのように進めていくのか。

【教育委員会の考え方】

- 望ましい学校規模を確保する取り組みは平成22年度から進めていますが、野跡小学校は、当時は対象となる小規模校ではありませんでした。その後、児童数の減少が進み、近年は小規模校化が顕著となっています。望ましい学校規模を確保していくためにも、取り組みを進めてまいりたいと考えています。
- ご説明した将来の児童数は、現在の児童数や幼児人口に、人口の移動率等を加味して推計しています。
- 名古屋市では、3～6年生は40人学級、1～2年生は30人学級を実施しています。

（裏面があります）

○教育委員会としては、令和2年度中の統合決定を目指したいと考えています。

○通学の安全確保につきましては、関係行政機関と連携し、必要な対策を進めてまいりたいと考えています。

○統合により使用しなくなる校地や校舎は、防災拠点等、地域に必要な機能に配慮しながら、有効活用を全市的な視点で検討します。

○今までの事例でも、新しい学校づくりの際に、児童相互の様々な交流をしています。そうした機会を充実させてまいりたいと考えています。

3 アンケートの主な意見・質問

○早く統合を決定して、スケジュールなどを示してほしい。

○もっと具体的に決まった話をもってきてほしかった。資料を配って、ご意見があれば受け付けします、で十分だと思う。

○なごや小学校統合時の問題点やその解決案を、もっと詳しく知りたい。

○統合が決まって新しい学校に通う事になるのであれば、子どもは柔軟に対応出来ると信じている。

○生まれてから野跡に長く住んでいるので愛着がある。母校がなくなるのはとても悲しいが、アンケート結果を見れば、望ましいことだと思う。

○子どもが楽しい学校生活だったと思える結果になると良いと思う。

○計画の進捗が知りたいので、市のウェブサイトなどに載せてほしい。

○子どもが少なくとも、稲永小学校、野跡小学校、そのままの方がよい。

【教育委員会の考え方】

○今回は教育委員会の考え方をお示しするために説明・意見交換会を開催しました。

統合に向けた具体的なスケジュールなどにつきまして、プランが決まりましたら改めてご説明させていただきます。

○お便りについて、小学校を通じた保護者への配布や地域で回覧するとともに、統合に向けた様々な情報を市公式ウェブサイトへの掲載等により情報提供してまいります。

◆お問い合わせ先（事務局）

皆さまからのご意見やご質問を受け付けています。いただいたご意見・ご質問と教育委員会の考え方は、市公式ウェブサイトでも皆様にお知らせしていきます。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室

Eメール：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

FAX：052-972-4176 TEL：052-972-4091

「野跡小学校の統合に関する説明・意見交換会」の開催結果

教育委員会では、野跡小学校と稲永小学校の統合に向けて検討をすすめています。

令和2年1月24日（金）及び25日（土）に野跡小学校の体育館で野跡小学校の保護者及び野跡学区の方を対象とした「野跡小学校の統合に関する説明・意見交換会」を開催し、様々なご意見やご質問をいただきました。

当日のやりとりやアンケートなどでいただいたご意見やご質問について、名古屋市教育委員会の考え方をまとめました。内容につきましては、趣旨の類似するものをまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

◆お問い合わせ先

皆さまからのご意見やご質問は、EメールまたはFAXで受け付けています。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室

Eメール：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

FAX：052-972-4176 TEL：052-972-4091

1 統合に関すること

（1）学級規模に関すること

- 以前は児童数がもっと少ない時期もあった。当時に比べたら、子どもの数は多いなと感じた。なぜ今になって統合の話が出てきたのか。
- 1学級の人数は基準があるのか。
- 子どもが増えると教員の負担が増えるのではないか。

（教育委員会の考え方）

- ・名古屋市では小規模校対策に関する実施計画による取り組みを平成22年から進めていますが、野跡小学校は当時は対象となる小規模校ではありませんでした。その後、児童数の減少が進み、近年は、小規模校化が顕著となっており、今年度は6学級となっています。現在の未就学児の人数からも、今後、小規模校を脱する可能性は極めて低い状況です。
一方、稲永小学校は現在12学級ですが、児童数は減少していく見込みとなっており、両校が望ましい学校規模を確保していくためにも、今回の統合という取り組みが必要であると考えています。
- ・名古屋市では、3年生からは40人学級、1～2年生は30人学級を実施しています。参考に、国では2～6年生で40人学級、1年生が35人学級です。

(1 (1) の続き)

- ・ 1 学級当たりの児童数は決まっているので、教員の目が届かなくなるということはありません。学級数が増えて教員が増えることで、一人あたりの校務等の負担が軽減され、児童と向き合う時間が増えるという側面があります。

(2) スケジュールに関すること

- ステップ1 からステップ5 までは何年くらいかかるのか。
- 統合に向け、目標とするスケジュールがあるのではないか。先に統合したなごや小学校の時はどのようなスケジュールだったのか。
- もっと具体的に決まった話をもってきてほしかった。

(教育委員会の考え方)

- ・ 今回の説明・意見交換会は、統合に向けた取り組みの最初の段階（ステップ1）に位置するものです。保護者・地域の皆様へ統合について教育委員会の考え方を広くお知らせするため、開催いたしました。
また、教育委員会では、統合を進めていく際には、中立性や客観性ととともに専門的立場からの見識や判断が必要と考えています。今後、学識経験者等により構成する名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会で具体的な取り組み内容の調査・審議を行う予定です（ステップ2）。
保護者・地域の皆様には、審議会の答申を踏まえ、統合スケジュールを含む具体的な取り組み内容を改めてお示しし、丁寧な協議（ステップ3）を行った上で統合の決定をしたいと考えています（ステップ4）。
- ・ 教育委員会としては、令和2 年度中の統合決定を目指したいと考えています。
- ・ スケジュールは校舎の整備内容によって異なりますが、参考として、なごや小学校の事例では、検討開始から新しい校舎で授業を受けられるようになるまで6 年ほど（検討、新しい学校づくり、校舎整備でそれぞれ概ね2 年）かかりました。
- ・ 統合に向けた具体的なスケジュールなどにつきまして、プランが決まりましたら改めてご説明させていただきます。

(3) 通学距離・安全対策に関すること

- 通学区域が広がると通学距離が遠くなり、また子ども同士で遊ぶ範囲も広くなるので心配だ。どのように安全対策を考えるのか。
- 通学路が長くなることが一番心配。過去の具体的な取り組みがあれば教えてほしい。徒歩しか認められないのか。
- 通学路の安全、防犯面の確保をお願いします。（子ども110 番の家の確保や、いざとなった時に助けてもらえる方法の講習など）
- 野跡学区はトラックも多いし、朝は急いでいる人もいる。歩道橋を増やしたり、ガードレールを伸ばしたり、統合前に整えてほしい。

(教育委員会の考え方)

- ・教育委員会職員が実際に地域を歩いて、通学路の安全対策は大変重要なことだと認識しています。統合後の新しい通学路につきましては、統合決定後の新しい学校づくりの中で保護者や地域の皆様と一緒に通学路を歩いたり、子どもの通学練習会を開催したりしながら、考えてまいります。
- ・名古屋市では、小学校における通学距離は概ね2 kmを目安と考え、原則徒歩による通学としています。
- ・なごや小学校では、関係機関に働きかけ、狭い歩道へのガードパイプの設置や注意表示の設置、歩行者先行信号の設置などを行いました。
- ・地域・保護者の皆様にもご協力をいただきながら、警察や土木事務所等の関係行政機関と連携し、子どものことを第一に考え、必要な安全確保に取り組んでまいります。

2 統合後の生活などに関すること

(1) 野跡小学校の跡地に関すること

○跡地の活用はどのように活用するのか。

○学校が統合しても学区は残るということだが、避難所の取り扱いや学区の野球、ソフトボール、バレーボール活動を継続したいので、できればグラウンドや体育館は残してほしい。

(教育委員会の考え方)

- ・統合により使用しなくなる校地や校舎は、防災拠点等、地域の防災機能に配慮しながら、余剰となる資産の有効活用を全市的な視点で検討します。
- ・これまでの学校跡地は、西区の旧江西小（インターナショナルスクール）、旧那古野小（会議室、シェアオフィス、イベントスペース等）、中村区の旧新明小学校（コミュニティセンター）、旧六反小学校（私立中学校）、旧本陣小学校（中村区役所等複合庁舎（予定））、旧亀島小学校（民間保育園及び公園、地域住民利用施設（予定）、サービス付き高齢者向け住宅（予定）等）となっています。
- ・統合により使用しなくなった校地や校舎は、いずれも指定避難所等となっており、地域の防災機能も確保されています。

(2) 統合前後の子どもたちの生活に関すること

○統合すると、野跡小学校と稲永小学校とひとまとめで、クラス替えが行われるのか。

○統合に向け、稲永小学校との交流を今後どのように進めていくのか。例えば、知らない子と一緒に修学旅行に行くことになったりするのか。その前年から交流できるのか。過去の統合でも、他校との交流を行ったのか。

- 今後、稲永小学校との交流を増やしてほしい。
- 子どもたちにアンケートを取るなど、しっかりケアしてほしい。
- 統合によって、日本語教育や除去食（アレルギーや宗教上の理由等）が充実するのか。

（教育委員会の考え方）

- ・各学区の子どもたちが、ひとつのクラスに偏らないような学級編成としてまいります。
- ・今までの事例でも、新しい学校づくりの際に、様々な児童相互の交流をしています。統合した後のケアだけではなく、事前の交流活動もできる限り行ってまいります。
- ・これまでには、野外学習やレクリエーション活動などを合同で実施するといった事例があります。野跡小学校と稲永小学校でも、是非、そういった機会を実施してまいりたいと考えています。
- ・子どもたちが新たな人間関係をスムーズに構築できるよう配慮していくことは大変重要と考えています。統合に向けて、学校の中で子どもにとって一番身近である教職員同士で情報交換を進めるとともに、スクールカウンセラーの活用やなごや子ども応援委員会との連携を図るなど、子どもの実情を踏まえながら準備していきたいと考えています。
- ・日本語教育につきましては、対象となる児童数に応じた教員の配置や、母語を話せる人の定期的な学校への派遣などを行っています。統合しても、そういった教育は継続してまいりたいと考えています。
- ・学校給食における除去食の取り扱いにつきましては、本市の「食物アレルギー対応の手引き」にもとづいて、全市統一的に実施しております。
なお、名古屋市では宗教上の理由での除去食は実施していませんので、これまでどおり、給食を食べることができない場合はお弁当を用意いただきますよう、ご協力をお願いします。

3 その他

（1）説明会に関すること

- 資料を見ると児童数が激減していくようだが、本当にこんなに減ってしまうのか。
- 早く統合を決定して、スケジュールなどを示してほしい。
- もっと具体的に決まった話をもってきてほしかった。全く具体的な話が聞けず、納得できない。みんなスケジュールなど聞けると思っていたので、時間を作って来た意味がなかった。今日みたいな説明なら、資料をみんなに配って、ご意見があれば受け付けします、で十分だと思う。

- 統合の取り組みは、今回はここだけなのか。他にあるなら、そこはステップいくつなのか。
- 港区内には、野跡小学校よりも小規模な学校はあるのではないか。なぜ野跡小学校で取り組みを進めるのか。
- なごや小アンケート結果（当日資料）で、クラスや人数が増えなかった方が良かったと回答した子どもがいるが、具体的な理由はわかるか。
- 稲永小学校での説明会ではどのような意見が出たのか。稲永小学校を見に行く機会はあるのか。

（教育委員会の考え方）

- ・ お示ししている将来の児童数は、現在の児童数や幼児人口に、人口の移動率等を加味して令和7年度までを推計しています。
- ・ 港区での説明・意見交換会は、野跡小学校と稲永小学校の取り組みが初めての開催になります。市内には他にも小規模校があり、天白区や守山区でも同様の説明・意見交換会を開催していますが、いずれもステップ1に位置するものです。
- ・ 野跡小学校では、近年、小規模校化が顕著となっており、今年度は6学級となっています。
- ・ 他の小規模校においても、大規模な住宅開発等の動向や、学校地域の実情を踏まえて、必要な取り組みをすすめてまいります。
- ・ 先に統合したなごや小学校のアンケートで、クラスが増えない方がよかったと回答した児童は8人おり、他の項目の自由記載欄を見ますと「クラスの意見をまとめにいくい」、「授業で当てられる回数が減った」、「ふざける子がいる」という意見がございました。
- ・ 稲永小学校で開催した説明・意見交換会の内容につきましても、市公式ウェブサイトで公開いたします。
- ・ 稲永小学校の見学につきましては、ご要望があれば、今後、保護者（PTA）同士の交流を含め、検討してまいりたいと考えます。特にご要望があれば、資料でもご紹介していますなごや小学校を見学する機会についても、検討してまいります。

（2）その他（ご意見やご質問）

- 毎日楽しく生活しており、統合がなければこのまま卒業まで通えたと思うが、統合が決まって新しい学校に通う事になるのであれば、それはそれで楽しく生活してくれる、子どもは柔軟に対応出来ると信じている。
- 生まれてから野跡に長く住んでいるので愛着がある。母校がなくなるのはとても悲しいが、アンケート結果を見れば、望ましいことだと思う。

- 子どもが楽しい学校生活だったと思える結果になると良いと思う。
- なごや小学校統合時の問題点やその解決案をもっと詳しく知りたい。
- 今回のような統合に向けての説明会などがこれからもあると思うので、その都度、市のウェブサイトなどに載せてほしい。進捗が知りたい。
- 子どもが少なくとも稲永小学校、野跡小学校のそのままの方がよい。なごや小のアンケートを見ても不安を感じている保護者もいる。統合前に子どもや未就学児にアンケートをとって、それをふまえて統合を進めて欲しい。
- 日本語教育をしっかりとってほしい。外国人への差別が心配。
- この地域が過疎化していく不安がある。この地域の子ども達を増やすための計画（シルバー住宅ではなく定住希望者や子育て世代を対象とした住宅を増やす等）はないのか。
- 統廃合の意味が明確になっていない感じがする。いじめは教育実践で克服できると思う。保護者や子どもの不安になる統廃合は再度考えて欲しい。

（教育委員会の考え方）

- ・今回はステップ1ということで教育委員会の考え方をお示しするために、説明・意見交換会を開催しました。いただいたご意見を参考に、保護者・地域の皆さんへご説明できるよう、進めてまいります。
- ・お便りについて、小学校を通じた保護者への配布や地域で回覧するとともに、統合に向けた様々な情報を市公式ウェブサイトへの掲載等により情報提供してまいります。保護者・地域の皆様のご意見をいただきながら、取り組みをすすめてまいりたいと考えています。
- ・現時点で、この地域に定住促進住宅や子育て世代向けの市営住宅を新たに建設する計画はないと聞いています。
- ・小学校では子どもたちが集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することが大切であると考えており、その教育効果を上げるためには、一定の学校規模が必要であると考えています。子どものことを第一に考え、また統合における子どもたちへの心のケアなどに十分配慮しながら、取り組みを進めてまいりたいと考えています。

様々なご意見・ご質問、誠にありがとうございました。